

道路事業の再評価概要書

() は、前回計画時

道 路 事 業 の 再 評 価 概 要 書		番 号	
		事業主体	栃 木 県
事業名	快適で安全な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	主要地方道 つくば ^{ましこ} 線	事業箇所名	^{ましこ} 益子町 ^{ながつつみ} 長堤
事業区間	^{はが} 芳賀郡 ^{ましこ} 益子町 ^{ながつつみ} 長堤～ ^{ましこ} 益子	事業延長	3,800m
H20 年度事業化		H20 年度用地着手	
H24 年度工事着手			
事業期間	(R4) H20 年度～R8 年度	事業進捗状況	基準年次：【令和4年度末時点】 進捗率
[うち用地補償費]	[16.2 (14.7)億円]	[うち用地補償費]	[15.6 億円] [96%]
全体事業費	39.7 (29.7)億円	既投資事業費	29.0 億円 73%
事業概要			
<p>主要地方道つくば益子線は、「とちぎの道路・交通ビジョン 2021」における広域道路交通計画の「その他広域道路」に位置付けられた道路であり、茨城県つくば市を起点とし、北関東自動車道の桜川筑西 IC を経て、益子町に至る幹線道路である。</p> <p>また、首都圏から益子町市街地までの主要なアクセス道路の一つとなっているが、近隣には入込客数が年間 80 万人を超える「道の駅ましこ」が立地しており、年間 60 万人が来場する益子陶器市、ひまわり祭り等の開催時には道路が混雑していることから、円滑な交通の確保が求められている。</p> <p>しかしながら、現道は幅員が狭く屈曲し見通しが悪いうえ、歩道がないことから、通行車両のほか通学児童等が大変危険な状況であるが、沿道は人家連担地域で拡幅・線形改良が困難な状況である。</p> <p>このことから、バイパスを整備することにより、観光・地域産業の支援となる道路ネットワークの強化を図り、安全で円滑な交通を確保するものである。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等			
<ul style="list-style-type: none"> ・労務資材単価や諸経費の上昇等による増額 29.7 億円⇒39.7 億円 (+10 億円) ・用地取得に時間を要するため事業期間見直し 令和4年度⇒令和8年度 			
事業の投資効果			
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
(1) 事業全体 B/C= 1. 8		86.5 億円	46.8 億円
(2) 残事業 B/C= 8. 6		74.7 億円	8.7 億円
2 事業の整備効果等			
<ul style="list-style-type: none"> ・広域道路交通計画のその他広域道路としての広域的な連携強化 ・バイパスによる円滑な交通の確保 ・自転車利用者、通学児童等歩行者の安全の確保 ・地域経済、観光産業活動等の支援 			
事業の進捗状況等			
1 事業の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月までにぐみ川渡河部を含めた南側約 1.6km 区間を完成 ・今年度は、その北側約 0.6km を供用予定 			
2 今後の事業進捗の見込み			
<ul style="list-style-type: none"> ・残る延長 1.6km 区間については、引き続き用地取得及び工事を推進し、令和8年度までに全線供予定 			
コスト縮減等			
1 コスト縮減方策			
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減 ・建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減 			
2 代替案立案等の可能性			
<ul style="list-style-type: none"> ・約 96%の用地を取得済みであることから、本計画が最適である。 			
事業の対応方針 (案)		本計画で事業を継続する。	

事業箇所(位置図、概要図)

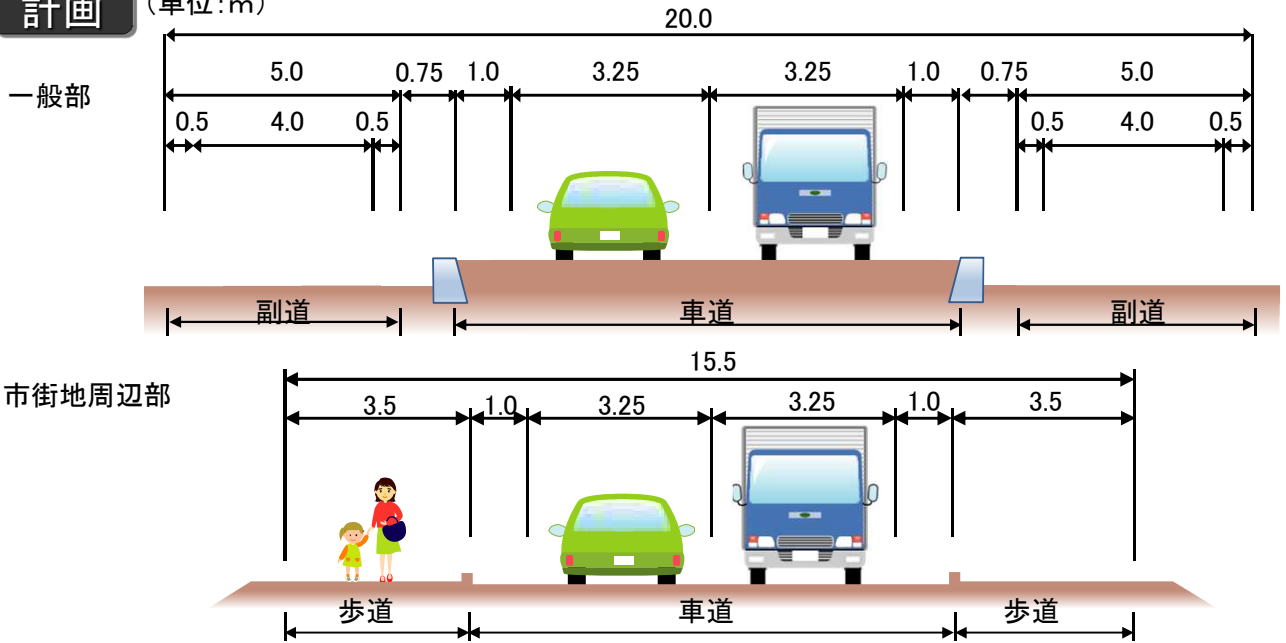
位置図



標準横断図

計画

(単位:m)



概要図





① ② 現道の状況



③ バイパス供用区間【ぐみ川付近】



④ ⑤ バイパス供用区間【道の駅ましこ周辺】

(再評価)

参考資料1-2

快適で安全な道づくり事業

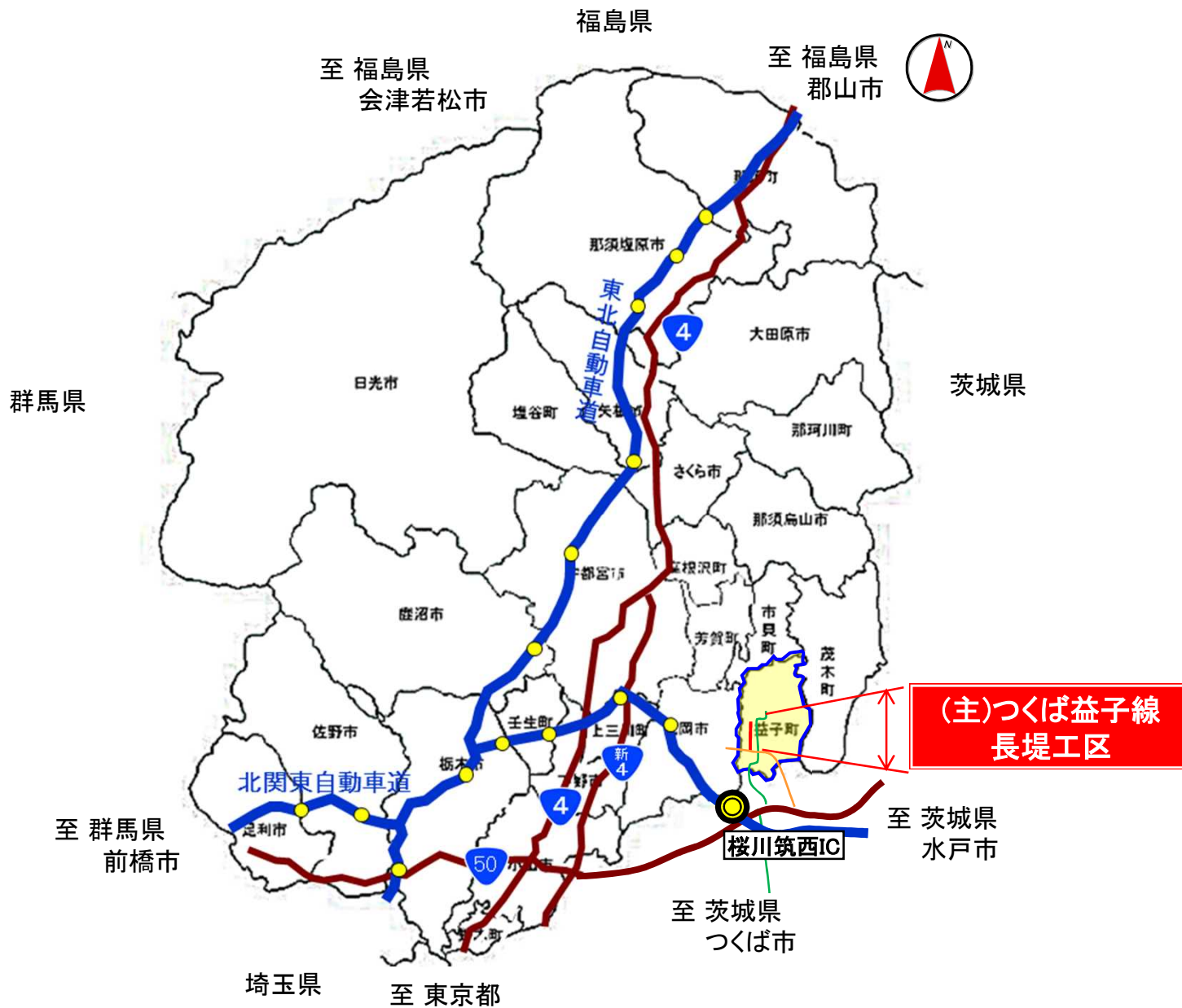
ましこ
主要地方道 つくば益子線

ましこ ながつつみ
益子町長堤工区

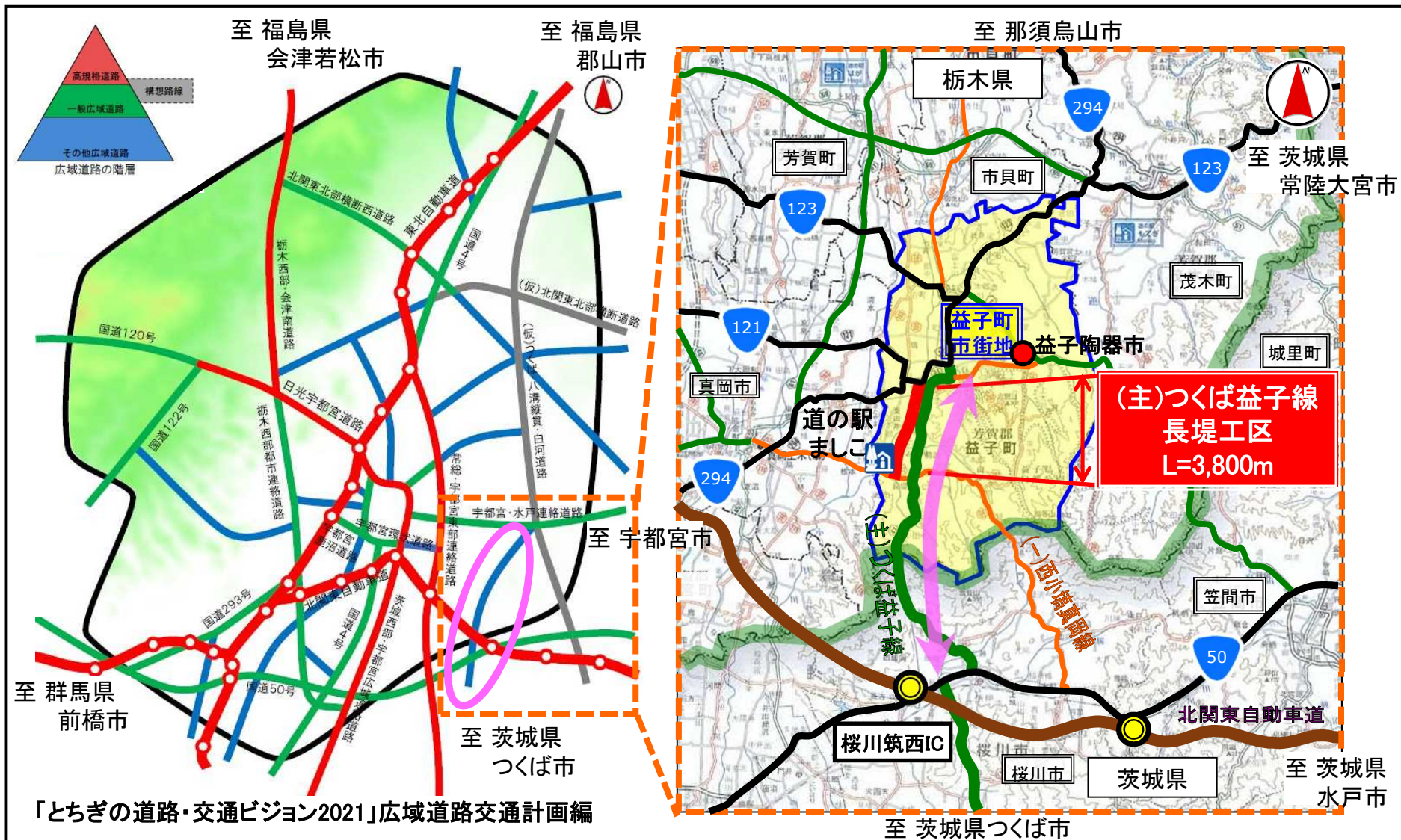
VERY 
GOOD
LOCAL
とちぎ

県土整備部道路整備課

1 位置図



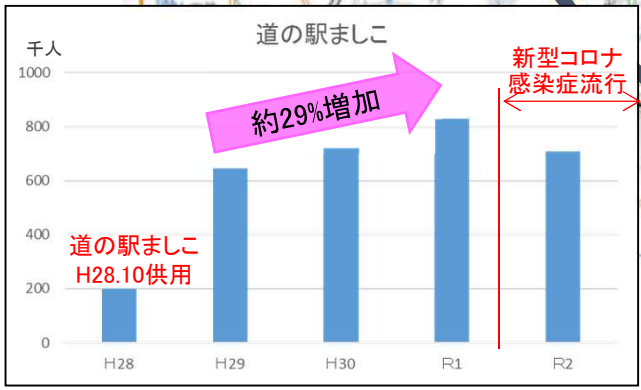
2 事業概要①



「とちぎの道路・交通ビジョン2021」広域道路交通計画編

- ・(主)つくば益子線は、広域道路交通計画において**その他広域道路に位置付けた道路**
- ・首都圏から益子町市街地までの**主要なアクセス道路の一つ**

2 事業概要②



・バイパス整備により桜川筑西ICからのアクセスを強化し、道の駅ましこをはじめとした観光施設の観光客入込数の増加を図り、地域経済、観光・地域産業の支援

平成29年から令和元年の3年間で約29%増加

2 事業概要③



■幅員が狭く屈曲し見通しが悪い状況

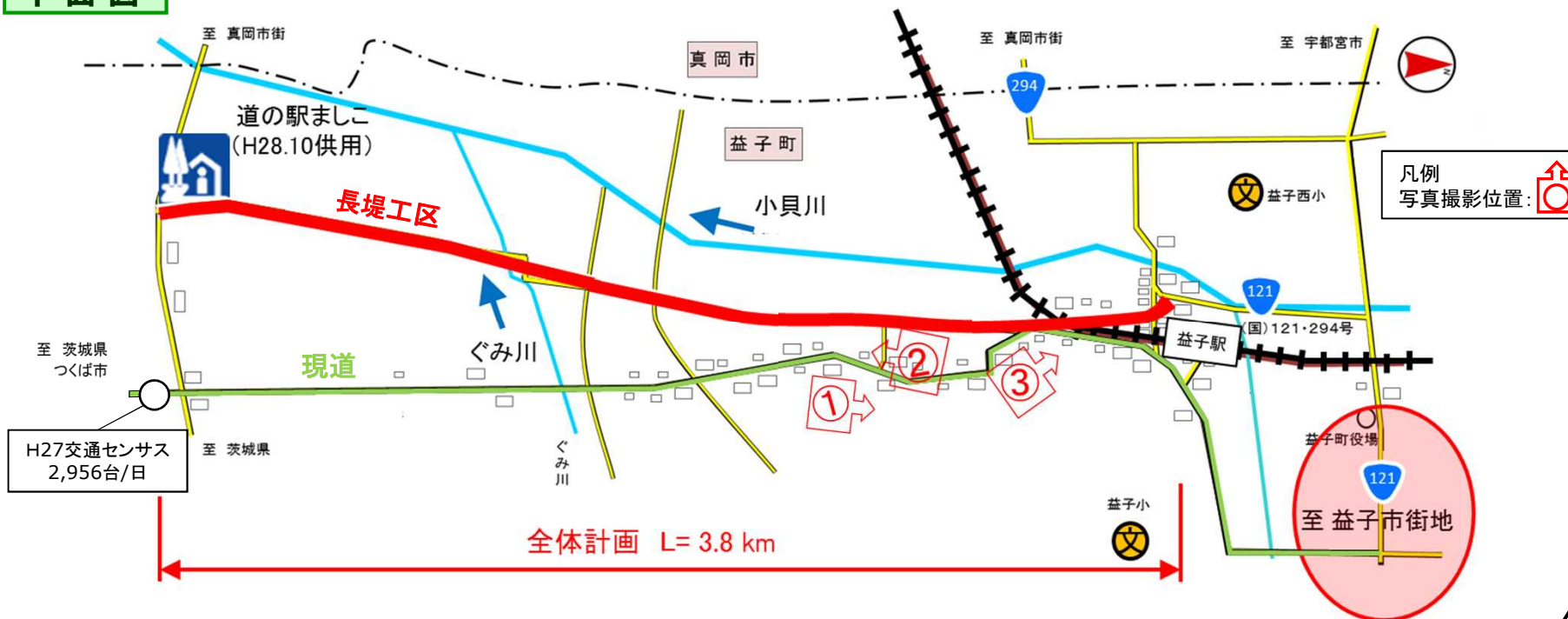


■歩道がなく通学児童が大変危険な状況



■人家が連坦し拡幅が困難な状況

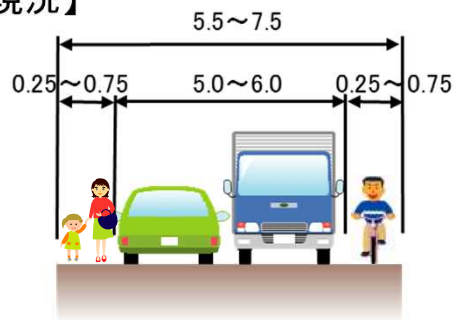
平面図



2 事業概要④

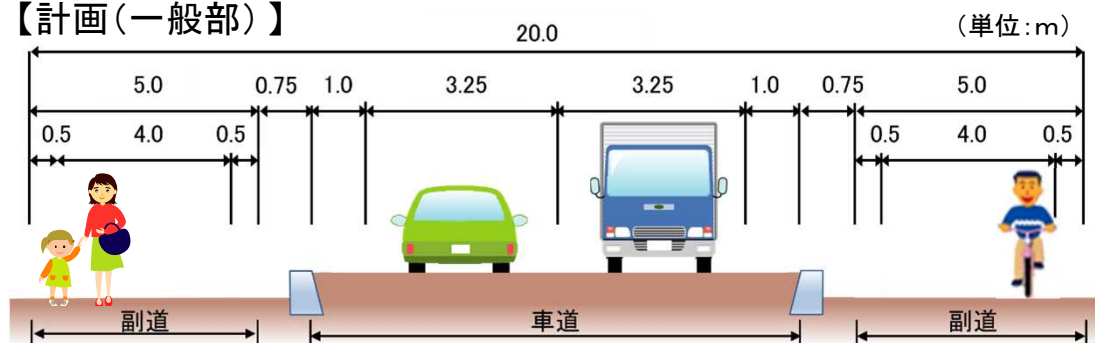
区 間：芳賀郡益子町長堤～益子
 計画延長：L=3,800m
 計画幅員：15.5m～20.0m
 道路規格：第3種第2級
 設計速度：60km/h
 車 線 数：2車線
 計画交通量：11,400台／日

【現況】

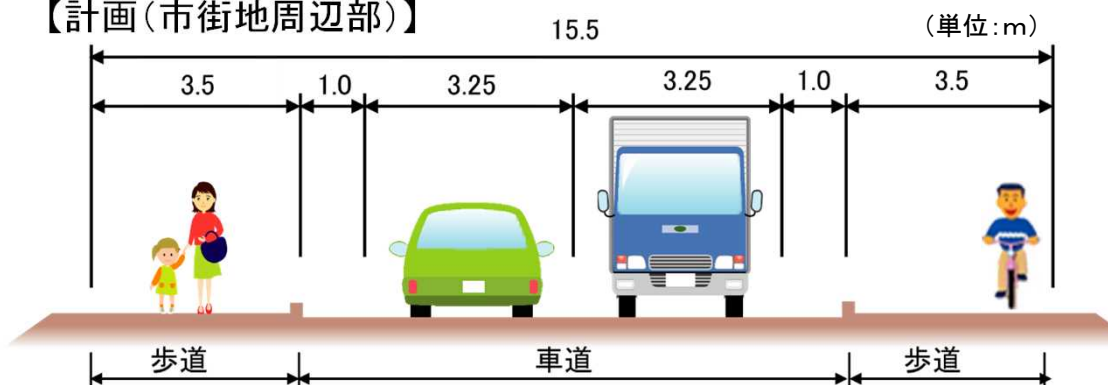


横断図

【計画(一般部)】

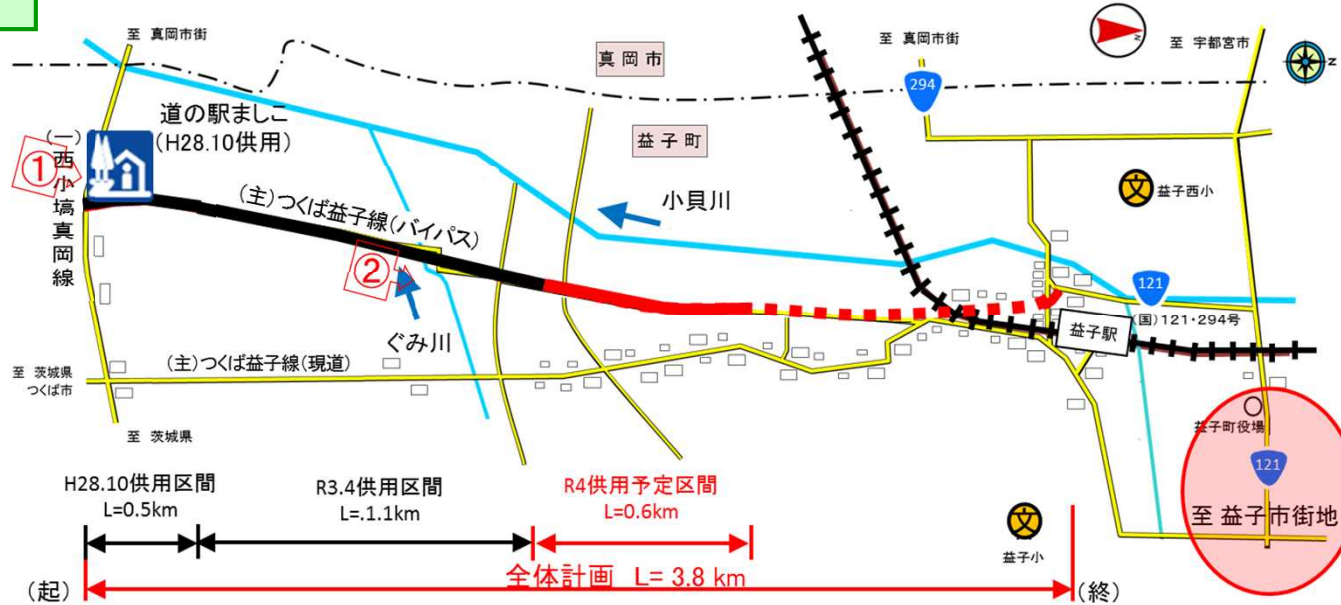


【計画(市街地周辺部)】



3 事業進捗状況

平面図



凡例
写真撮影位置:

<凡例>

用地	■:取得済
	■:未買収
工事	■:整備済
	■:未整備

用地	
工事	

【令和4年度末時点】
うち用地補償費 96%
既投資事業費 73%

道の駅ましこ



■バイパス供用区間【道の駅ましこ前】



■バイパス供用区間【ぐみ川付近】

4 事業計画の変更

(1) 事業費の増額

労務資材単価や諸経費の上昇等による増額

29.7億円 ⇒ 39.7億円(+10.0億円)

(2) 事業期間の延伸

用地取得に時間を要するため事業期間を見直し

令和4年度 ⇒ 令和8年度(4年延伸)

4 事業計画の変更

(1) 事業費の増額(内訳)

		前回計画		今回計画	
	事業費	29.7億円	⇒	39.7億円	(+10.0億円)
内	工事費	15.0億円	⇒	23.5億円	(+ 8.5億円)
訳	用補費	14.7億円	⇒	16.2億円	(+ 1.5億円)

工事費増額の内容

- ア 労務資材単価の上昇、諸経費の増加に伴う増額 +6.0億円
- イ 副道計画の見直しによる擁壁の追加に伴う増額 +2.2億円
- ウ 早期効果発現のための部分供用に伴う増額 +0.3億円

用地補償費増額の内容

- エ 残物件の補償費再算定に伴う増額 +1.5億円

4 事業計画の変更

(1) 事業費の増額(内訳)

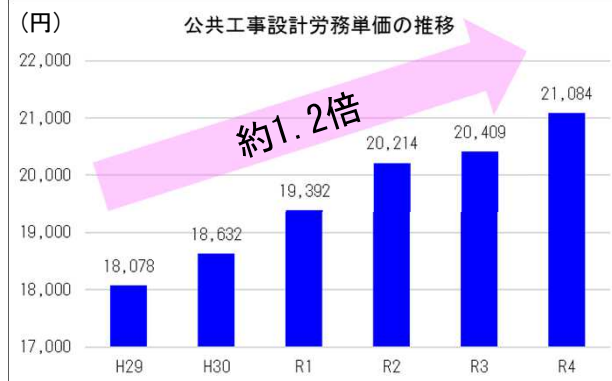
ア 労務資材単価の上昇、諸経費の増加に伴う増額 +6.0億円

- ① 労務資材単価の上昇による増額 +3.0億円
 - ② 諸経費等の上昇による増額 +3.0億円
- (諸経费率改定、週休2日補正、消費税等)

労務資材単価の推移

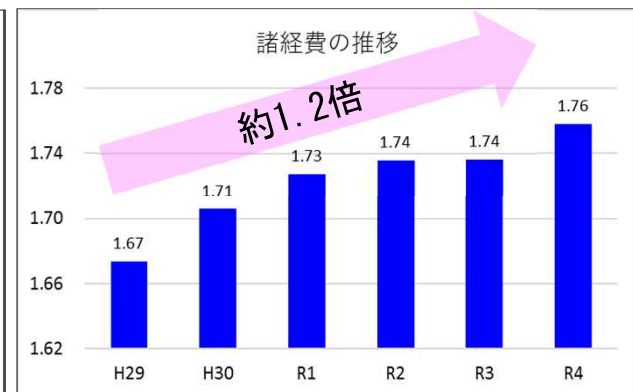


※一般財団法人経済調査会ホームページより
H27を基準(100)とした場合の宇都宮におけるセメント、生コンクリート、骨材、瀝青材、普通鋼材の平均値



※国土交通省ホームページより
全国全職種の平均値

諸経費の推移

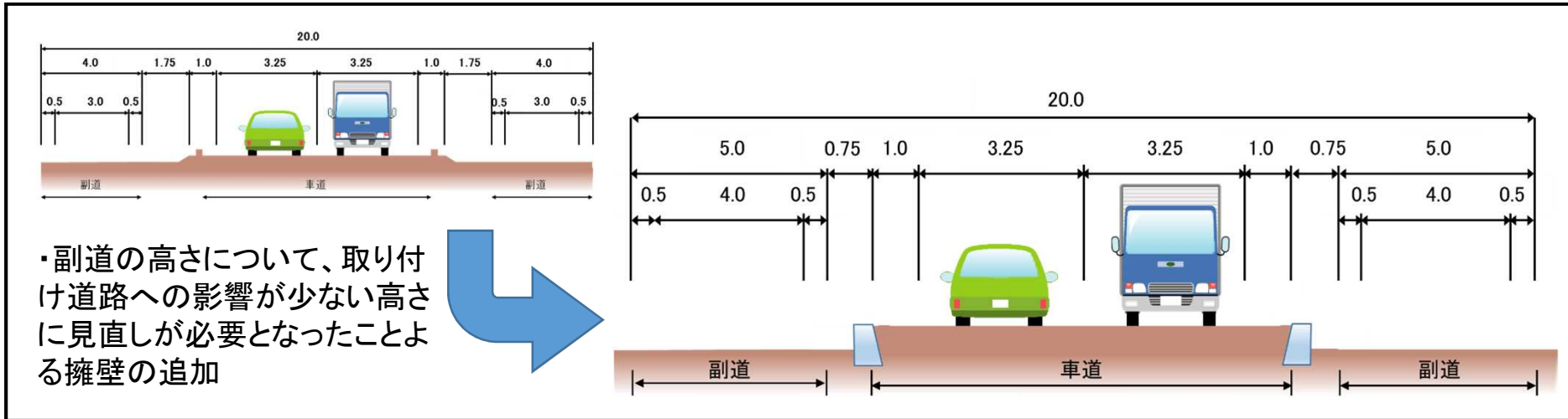


※直接工事費50百万円に対する諸経費の割合
(共通仮設費、現場管理費、一般管理費、消費税、週休2日補正)

4 事業計画の変更

(1) 事業費の増額(内訳)

イ 副道計画の見直しによる擁壁の追加に伴う増額 +2.2億円



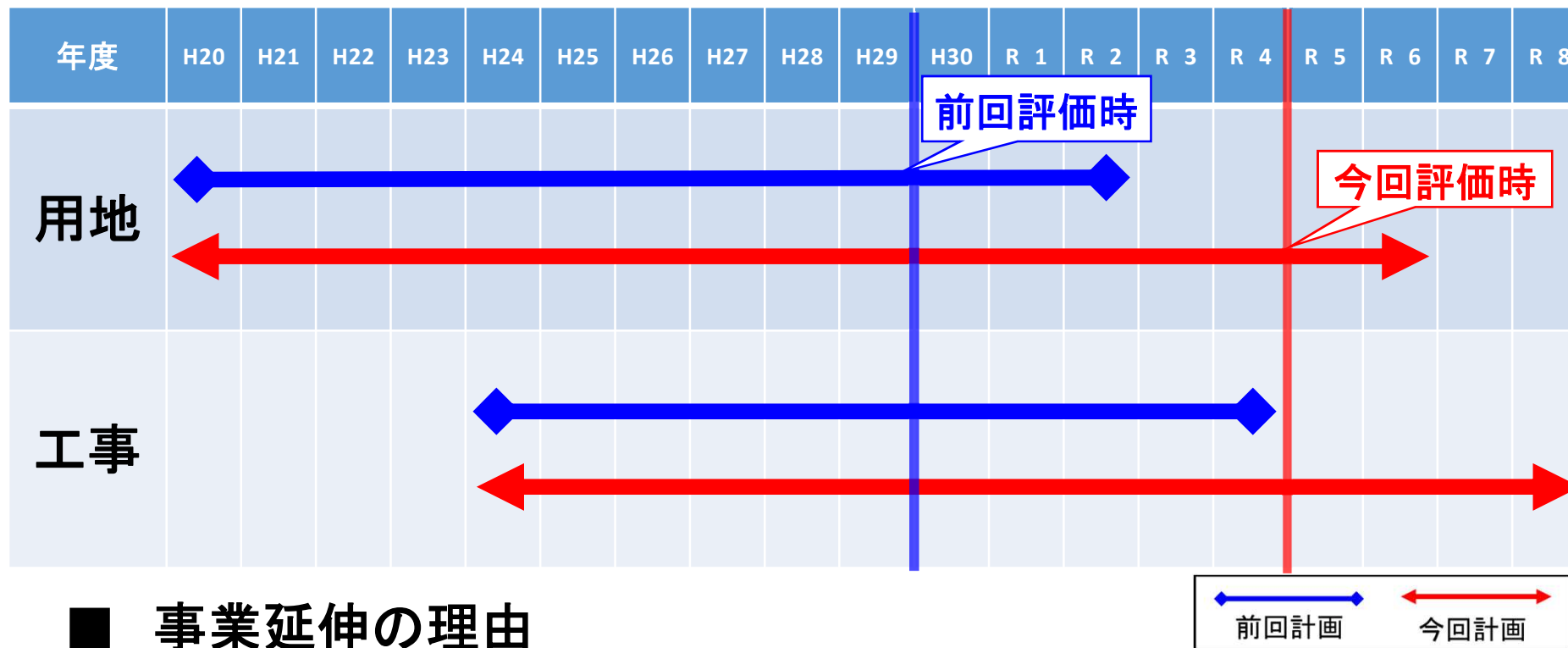
ウ 早期効果発現のための部分供用による増額 +0.3億円



・バイパスの早期効果発現のため、現道からバイパス整備済区間への擦り付け舗装による増額

4 事業計画の変更

(2) 事業期間の延伸



- 事業延伸の理由
用地取得に時間を要するため

- 今後の見通し
 残用地 ⇒ 4年延伸し、令和6年度までに取得予定
 残工事 ⇒ 用地取得完了2年後の令和8年度に完成予定

5 コスト縮減方策

- (1) 再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用
- (2) 建設発生土の公共工事間流用

6 整備効果

- (1) 広域的な連携強化
- (2) バイパスによる円滑な交通の確保
- (3) 自転車、通学児童等歩行者の安全の確保
- (4) 地域経済、観光産業活動等の支援